

にこにこ通心

平成29年6月

vol.80

勝裕章 



似顔絵スタンプ
紛失したため

相変わらず
整理整頓が苦手TT

妻を責めない

にこ通 vol.78で、今年心がけている「妻を責めない」は次の機会に、と書きました。

時間が経過し、このままフェードアウトにしよう、と思い始めていたところ。

何人かの方から「あれ、いつ書くの？楽しみにしてるね」と言われてしまいました。元気があって書きます。

僕は妻と二人暮らし。厳密にはトビーというワンちゃんと共に暮らしています。

妻は専業主婦。5年前に脳梗塞になり、手足に後遺症はないのですが、現在トビーのお世話と家のことを中心にしています。

病気をして性格が穏やかになり（読まれたら怒られる）、夫婦仲は良くなったように思います。

でも時に、僕が妻に対して言うてしまうのです。仕事から帰宅した時に洗濯物のことや台所のこと... 言ったところで、お互いがいい気分にならないことは分かっているのに、つい言うてしまう。う

僕が週1回参加している朝の学びに「夫婦は一对の反射鏡」という章があります。抜粋すると、

男女はその肉体は相反し、相補うようにできているが、その心はどうであろう？

結婚当時はうまくいくが、次第に離れて、全く反対の方向にさえいってしまう事がある。

そうすると、家のことは、ちぐはぐになって、仕事も商売もうまくいかなくなる。

それがこれまでは、仕事の方ならば夫のせいにし、子どものことは妻の責任にした。

これは実は大間違いである。すべてが夫婦の心が一致しているかいなか、にかかっているのである。

夫婦は互いに照らす一对の反射鏡。夫婦が互いに相手を直したいと思うのは逆さである。ただ自分を磨けばよい。

己を正せばよい。その時相手は必ず自然に改まる。

夫婦はいつも向かい合った一組の鏡である。



思い通りにいかなかった時、問うのは常に自分である、という教え。

自分は妻に言うだけのことをしているだろうか？ 全くできていないので、

靴はぬぎはなし、服はぬぎはなし、後片づけできない... までは自分で。

妻を責めない、夫を責めない、親を責めない、子どもを責めない... 相手を責めない。

向き合うべき、磨くべきは常に自分の心。楽しみながらできるといいのですがなかなか笑

当たり前にこんな思考になるように、今年心がけていることでした。

経営者モーニングセミナー

毎週木曜日朝6時~7時、どなたでも参加
できます。

上に書いた朝の学びの会で、毎週くり返し人としてあるべき道を学ばせていただいております。

8/24(木)僕が講話をさせていただく機会をいただきました。テーマは「自分の花を咲かせる」

25才で保険業界に入ってから今に至るまで、自分が取り組んできた言行錯誤の物語を

お話させていただきま。ご興味ある方、聞きに来て下さるとアキラ100%とても嬉しいです。

場所はとやま自遊館3F(環水公園横)

The trial version converts only 1 page. Evaluation only.

Converted by First PDF.

(Licensed version doesn't display this notice and converts the whole PDF document!)

[Click to get the license for First PDF.](#)